

ワークショップで学ぶ、リモートアジャイル開発の極意【オンラインライブ】

(4123193)

☑ アジャイル開発の基本を座学で学び、その学びを実務でも使えるオンラインツール上で模擬プロジェクトの演習を通して、体験しながら習得します。※プログラム開発経験は不要です。

開催日時	2024年2月8日(木) 9:00-16:00ライブ配信
カテゴリー	IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント 専門スキル
DXリテラシー	Mind(マインド・スタンス)：デザイン思考／アジャイルな働き方 Mind(マインド・スタンス)：新たな価値を生み出す基礎としてのマインド・スタンス
講師	大脇 氏 (Ridgelinez株式会社 Technology Group) 1988年 富士通株式会社入社。 2003年より、最新の技術・手法を実践し、社内に展開する業務に従事。 2013年 社内システム開発にアジャイル開発を採用し、自ら実践。その経験から得られた知見を活用し、社内へのアジャイル推進（講座開催、現場支援）活動中。その中でも、超上流からUX向上を目指した活動に注力。 2016年 認定スクラムマスター取得。 2020年 Ridgelinez株式会社に転籍。 2020年 SAFe Program Consultant取得。
参加費	J U A S 会員/ITC：33,800円 一般：43,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み） 【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	アジャイル開発に興味がある方、これから取り組まれる方、取り組みはじめた方 アジャイル開発を始めているが、なかなか軌道に乗らない方 ソフトウェア開発のチーム運営に悩みのある方（プログラム開発経験は不要です） 初級
開催形式	講義、グループ演習
定員	16名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

ライブ配信（Zoomミーティング）【[セミナーのオンライン受講について](#)】

■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

■開催日までの課題事項

ツール接続テスト※ワークにて、miroを使用いたします。（<https://miro.com/>）

模擬プロジェクトでアジャイル開発の基本的な流れを学びます。

イテレーションを繰り返して短期開発でお客様が使える機能をリリースする感覚をつかんでいきます。

演習：

- －模擬プロジェクトによるアジャイル開発の基本的な流れを実務でも使えるオンラインツール上で体験
- －自己組織的なチームビルディング
- －イテレーティブ&インクリメンタルな価値提供
- －フィードバックを得ながら、お客様と一緒に開発
- －タスクボード、バーンダウンチャート、KPTの使い方

主な内容

1. アジャイル開発とは

アジャイル開発の考え方や特徴を、ウォーターフォール開発との比較も交えて学びます。

開発の流れ、人の動きや役割、お客様との関り方がこれまでとは大きく異なり、それらを変える事によってどんな効果があり、何が得られるのかを理解します。

ここで学んだ事を以降の模擬プロジェクトを通して実体験し、より深い理解を得るとともに実践への足がかりを掴みます。

2. 長期視点の計画と見える化

最初に模擬プロジェクトにおけるビジョンの共有と具体化、

ビジョンを達成するための計画を長期視点で立案します。

模擬プロジェクトは、実際のリモート開発でも使えるようオンラインツール上で進めていきます。

3. 短期開発の実践

タスクボード、バーンダウンチャート、KPTといった、

アジャイル開発を進める上で必要となる基本的なツールの使い方を学びながら、

アジャイル開発の基本的な流れを実践します。

4. 変化を受け入れる

イテレーティブ&インクリメンタルに開発を進める事で得られるフィードバックの重要性を理解し、

お客様と一緒に変化を受入ながら進める事の大切さを学びます。

5. チーム開発の意義

メンバー全員が、自分ごととしてチームの運営に関わる事を体感し、

自己管理チームとして活動する事の楽しさと利点を学びます。

※ワークにて、miroを使用いたします。(https://miro.com/)

推奨ブラウザが「Google Chrome」となります。

PCにてご参加ください。

■受講者の声

- ・説明も資料も分かりやすく、仕事に使いそう。
- ・実際の作業を通じて専門用語の理解を深めることができた。
- ・大半が演習の時間で、かつ演習時に指摘・軌道修正があり単純な座学よりも集中できた。
- ・体感する事の大切さがわかった。コーチングの内容・タイミングもよかった。